

科目名	医療安全管理学事例研究		D3-301	担当教員名	石松 一真、大石 雅子、和佐 勝史、石原 啓之、江原 一雅、飛田 伊都子
単位数	1単位		選択必修	配当年次	2年次・第3セメスター(通期)
曜日・時限	木曜日・6限目		教室	オンライン授業	
授業概要	Safety I の観点から、事故の分析法である根本原因分析について自己学習を行った上で、具体的な事例を使用した分析・対策立案の演習を行い、再発防止へと展開する。併せて認知心理学的視点や行動分析的視点による医療事故分析の新しい手法を学ぶ。これらを通してCQI(持続的質改善)に向かうことの重要性を学ぶ。加えて、Safety II の観点から、マインドマップの手法やチーム医療の演習を具体的にを行うことで、新しい医療安全管理の視点や方法論を学ぶ。				
到達目標	1) 医療事故分析の演習を通して、現場における課題を発見することができる。 2) 医療事故に対する解決策を立案し、実践できるように教育や説明をすることができる。 3) 新しい医療安全管理としてのSafety II の視点を修得することができる。				
回	日程	見出し	内 容		実践的な授業方法
1	4/7	システム改善計画立案演習(石松、江原)	マインドマップ、ブレインストーミングを用いて、医療の質の向上のための対策をグループで立案する。[グループディスカッション]		○
2	4/14	医療事故事例紹介(大石、江原)	ひとつの医療事故事例を取り上げる。学習した事例の内容を共有し、その後、医師・看護師・薬剤師それぞれの視点から事故の背景について紹介する。[プレゼンテーション]		○
3	4/21	エラー分析法(1)(江原)	【導入】事例の分析法について学習する。学習した内容をプレゼンテーションし共有する。学習した分析法を用いて提示事例の分析を始める。[グループディスカッション][プレゼンテーション]		○
4	4/28	エラー分析法(2)(江原)	【展開】学んだ根本原因分析手法を用いて事例を展開(原因分析・再発防止対策)する。進め方はチームで計画立案し自主的に行う。[グループディスカッション]		○
5	5/5	エラー分析法(3)(江原)	【まとめ】各グループ発表する。対策の有用性やどうあるべきかを積極的に議論し、根本原因分析法による効果とCQIに向かうまとめを行う。[グループディスカッション][プレゼンテーション]		○
6	5/12	認知心理学的視点による分析と対策(1)(石松)	【導入】医療事故事例について、認知心理学的視点からヒトの認知・行動に注目し、ヒューマンエラーの分類および業務プロセスを踏まえた分析の演習を行う。[グループディスカッション]		○
7	5/19	認知心理学的視点による分析と対策(2)(石松)	【展開】分析結果を踏まえ、認知心理学的視点から実効性のある対策を立案するための演習を行う。[グループディスカッション][プレゼンテーション]		○
8	5/26	認知心理学的視点による分析と対策(3)(石松)	【応用】認知心理学的視点による分析と対策の手法について、成功事例や日常業務の分析に応用するための演習とまとめを行う。[グループディスカッション][プレゼンテーション]		○
9	6/9	行動分析法(1)(飛田)	【導入】ヒトの行動を環境の関数と捉える行動分析学的手法を用いて、医療事故事例のヒトの行動と環境に注目して、分析の演習を行う。[グループディスカッション]		○
10	6/16	行動分析法(2)(飛田)	【展開】医療事故事例に対する行動分析学的な問題解決法を立案する。さらにその臨床現場における実現可能性について議論する。[グループディスカッション]		○
11	6/23	行動分析法(3)(飛田)	【まとめ】各グループ発表する。全発表内容について比較検討し、立案した問題解決法の有用性について議論し、まとめを行う。[グループディスカッション][プレゼンテーション]		○
12	7/14 5限目	チーム医療と医療安全(1)(石松、江原)	【導入】チーム医療と医療安全について、チームステップスの概論及びチームコンピテンシーの基本的知識を身につけるための演習を行う。[グループディスカッション][プレゼンテーション]		○
13	7/14 6限目	チーム医療と医療安全(2)(石松、江原)	【展開】チームステップスをどのように臨床現場で活用しているかを、事例を用いて討論する。[グループディスカッション][プレゼンテーション]		○
14	7/21 5限目	チーム医療と医療安全(3)(石松、江原)	【応用】チームステップスの実践例を紹介し、具体的に活用するための演習を行う。組織変革手法と評価についても触れる。[グループディスカッション][プレゼンテーション]		○
15	7/21 6限目	総括(石松、大石、和佐、石原、江原)	本授業で取り上げた分析法について振り返り、医療の質・安全の向上につなげるための総括を行う。[プレゼンテーション]		○
キーワード		事故分析、事故対策、情報管理、チームステップス、ヒューマンファクターズ	履修条件	なし	
教材等	教科書(要事前購入)	教科書は特に指定しない。講義で使用する資料は適宜配付する。			
	参考書(任意購入)	「医療におけるヒューマンエラー 第2版:なぜ間違える どう防ぐ」、河野龍太郎、医学書院、2014年、それ以外は講義中に紹介する。			
成績評価方法(%) [評価のポイント]		①授業・グループ演習への参加・貢献度(30%)、②終講レポートを含む各種提出物(70%) [②各種提出物の完成度を評価します。]			
授業時間外で必要な学修		演習は、与えられた教材と演習方法をあらかじめ理解すること。自施設の状況を客観的に分析し、演習内容を活かせるように整理する。			
学生へのメッセージ		みなさんが所属する(または将来所属する)職場で起こり得る身近な問題として、常に考えながら受講してほしい。第1セメスター及び第2セメスターの必修科目を履修していることが望ましい。			

※ 授業の日程については変更する場合があります。